

## 会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成26年度第1回定例会会議記録
開催日時	平成26年4月23日(水曜日) 午後6時30分から8時30分
開催場所	田無公民館 第二学習室
出席者	委員：渡辺文子、野間春二、瀬川容子、馬場真由美、真鍋五十鈴、畠山昭裕、西原みどり、糸山時子、中曽根聡、武司一郎、小林克彦、大野雅生、上田幸夫、新藤浩伸 事務局：田中館長、小笠原分館長、石川分館長、長谷部分館長、平井分館長、鴨志田分館長、保谷しげ美、山崎雄仁、市川陽子、高梨三幸、三河智弘、伊佐英夫、神田園子(オブザーバー)
欠席者	なし
議題	1 第12回定例会の記録について 2 報告事項 行政報告 公民館だより編集室報告 都公連総会報告 利用者懇談会報告 3 事業計画書・事業報告書について 4 事務連絡及び情報交換
会議資料の名称	資料1 西東京市公民館運営審議会平成26年度第1回定例会次第 資料2 西東京市公民館運営審議会平成25年度第12回定例会会議録 資料3 平成26年度公民館運営審議会日程
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
傍聴者	有り 無し
会議内容	
<p><b>議題1 第12回定例会の記録について</b> 訂正事項なし</p> <p><b>議題2 報告事項</b> (1)行政報告</p> <p>○事務局： 4月1日付で人事異動が行われた。柳沢公民館川口館長補佐、保谷駅前公民館大平主幹が退職。川口館長補佐の後任は館長が兼務、駅前は鴨志田主任が昇格。伴い専門員の異動も行う。</p> <p>○事務局： 社会教育課の神田主査が、今後公運審と、図書館協議会の会議にオブザーバーとして出席。</p> <p>○事務局： 平成26年西東京市議会第1回定例会が行われた。公民館に関する質問は、第4次行政改革に伴う「施設の在り方」と「受益者負担」の2点についてあった。</p> <p>○事務局： 予算特別委員会が開催された。公民館関係では、関東甲信越静大会に伴う臨時職員費、また工事費として柳沢公民館のトイレ改修費、芝久保公民館のエレベーター改修費を予算計上した。</p> <p>(2)公民館だより編集室報告</p> <p>○事務局：</p>	

別紙報告書どおり

### (3)都公連総会の報告

○事務局：

4月16日小平市中央公民館で開催。25年度の決算、26年度の役員、予算、事業を審議し、承認された。また27年度開催の関東甲信越静大会の協力をお願いする。26年度の都公民館大会は次年度の大会開催に全力を注ぎたいので開催しないと決定した。

### (4)利用者懇談会報告

○事務局：

昨年の秋に開催した懇談会での質問事項を文書により回答した。

○事務局：

耐震設計に入る。内容が決まり次第利用者の報告。ミニコミ誌を発行、各団体に5部ずつ配布。利用団体が多いので、使用予定表1週間分を掲示、特例使用を進めている。

○事務局：

26年度事業と第2学習室の夜間開放の説明を行った。課題事項については、職員間で検討している。

○事務局：

改修工事終了の報告。事業は、障がい者と交流が図ることを対象にした講座、災害復興支援についての話し合いを行っていききたい。「よい公民館ってどんな公民館」をテーマに話し合う。今後も引き続きテーマを決め話し合っていきたい。

○事務局：

懇談会終了後、避難経路の確認を行った。施設も6年目に入り、各部屋を点検しより利用しやすい公民館にしていきたい。

(質疑)

委員：

公運審の開催場所は今後も田無公民館なのか。

○事務局：

交通の便等を考慮している。今後も田無公民館で開催する。

委員：

田無公民館の使用予定表の掲示は、どのような団体が使っているかがわかり親しみが持てる。しばらく続けてその効果を検討してもらいたい。

委員：

利用者懇談会の報告を参加した団体以外に報告することはないのか。

○事務局：

出席しない団体への報告は、市の情報公開コーナーや各館の窓口においている。

○事務局：

ミニコミ誌として報告している。

○事務局：

利用懇ニュースとして利用者に渡していきたい。

○事務局：

利用者懇談会の結果はロビーに写真等を展示し報告している。

委員：

利用者懇談会不参加の団体へ周知をお願いしたい。

委員：

懇談会で出た意見は、次の懇談会で回答するのでは遅すぎる。何らかの形で報告してほしい。

事務局：

事務局窓口等を活用し報告はしていきたい。

### **議題3 事業計画書・報告書について**

○事務局：

計画書・報告書に記載されているキーワードについて説明。

今後公運審に提出する計画書及び報告書については、キーワードが印刷されたものは出さない。キーワードの目的は、事業評価表の根拠として使用する。この中に記載することにより、各計画内容、報告内容を記載する欄が少なくなってしまうため、十分に内容を確認することができなくなってしまう。集計はデータとして蓄積してあるので要望があれば提出する。

平成26年度公民館主催事業企画書（10件）平成25年度公民館主催事業報告書（22件）

（事業計画書・報告書）

委員：

「自分らしさを大切に生きるために、3.大切な人とのコミュニケーション」達成度がいずれもCランクになっている。学校訪問などを行い積極的にPRしていることを知っているの、評価したい。

事務局：

地域の人権意識の掘り起こしが不足していた。

委員：

「現代学講座」3回とも現場の声を聴く、公民館らしい事業である。

委員：

「エンジョイ・Jーゴスペル」達成度の一つがCになっているがアンケートでも評価されているし、当初の目標でも予測したことではないのか。

委員：

「人権講座」対象者が市民となっているが、読んでみると当事者や関係者などが対象になってしまうのではないと思う。対象者を絞らないときつい内容になってしまうのでは。

事務局：

対象は絞らない方向で考えている。より多くの人々に、どこにも居場所がない子どもや青少年がいることを知ってもらい意味も込め、対象者を「市民」とした。人の集め方も、映画の上映を通じ広く参加を促したい。

委員：

「自分らしさを大切に生きるために③大切な人のコミュニケーション」は、計画書の段階でタイトルのつけ方を工夫してください、との意見が出たと思うが、その後どのように検討したのか。最初の目的と方向性が広がって、まとまりがなくなってきたのかなと感じる。内容としては大変興味のあることなの

で、頑張ってもらいたい。

事務局：

原因までは確認していないが、方向性が拡大してしまったことなどは、今後職員間で議論し、次の講座に活かしたい。

事務局：

柳沢のムービールームに映画を学ぶ学生を参加させている。映画の解説を書くなど、若い世代の学びの機会となっている。

事務局：

学生の映画の見所など解説をお願いしている。今年度更に充実を図り、参加者との交流も考えている。

委員：

柳沢公民館の「社会教育を考える講座」計画書の段階で発言した意見を反省している。報告書から参加者の深い学びがあったことが感じられる。社会教育はもっと自由にやってもよいことだと思った。

委員：

「現代学講座」講師の生き方に触れることは、社会教育の原点である。今後も大切にしてほしい。

委員：

保谷駅前のインターネットの副次的効果のところに新聞等への働きかけにより普段公民館に来ない人が半数近くいた。今後このような呼びかけも必要である。

委員：

「人権講座」アイデアが非常に良い。従来型の人権の考え方を広げることを提案する機会になる。

委員：

「くるみ学級」の報告書で達成度がCになっている。捉え方で一概には言えないが、この1年間携わっていて、地域との交流を図っていたように思える。更に地域の人たちとの交流を図ることが必要なのだと思っている。今年はこの目標を達成するため、頑張っていきたい。

事務局：

この間スタッフの確保につながっていない。まだまだ十分に周知が図られていないと感じ、Cにつけさせてもらった。

事務局：

「マクロビオティック講座」今後の方向性を考えると、前任者との引継ぎをしっかりとやって対応してもらいたい。

#### **議題4 事務連絡及び情報交換**

##### **(1) 公運審の日程**

今年度第2回・第5回・第8回・第11回については、議会月の前ということで第3水曜日に実施する。ご理解をお願いしたい。

(2) 専門員研修を6月23日の休館日に実施する。「公運審について」上田先生が講師で行う。委員もぜひ出席してほしい。

(3) 公運審委員の訂正1件お願いする。

(4)ひばりが丘フェスティバルの実行委員会で作成した。利用全団体ではないが、ご覧いただきたい。

(5)「ひとにやさしいまちづくり チャレンジ講座」の報告である。都からも公運審に読んでもらいたいとのこととお配りした。26年度は委員会の委員として出席する。公民館では、ステップアップ講座の中で、先の講座の学習者とともに準備会を取り入れながら内容を作り上げて行こうと考えている。

事務局：

この1年率直な意見を出しあいながら、楽しい公民館づくりをしていこうを思います。

次回の日程について

平成26年度第2回定例

5月21日(水曜日) 午後6時30分から 於:田無公民館 第二学習室